※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	選択数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	授業プリント　など						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業プリントなどを用いて、様々な分野の問題に取り組んでいきます。ときにはグループ活動や実験を行い、自分だけでなく他の人と力を合わせて問題に取り組みます。数学が得意である必要はありませんが、複雑な計算でも根気強く計算をする力や、論理的に考えていく力が求められます。どのように計算すると効率的であるか、どのような思考でその問題に取り組んだか、などを全体やグループ内で共有し、様々な思考を得ることで学びを深めていきます。

２　学習の到達目標

(1)数学的な見方・考え方を基に的確かつ能率的に処理することができる。
(2)問題を自ら考え、解決しようとする。事象の特徴を捉えて数学的な表現を用いて表現することができる。
(3)多様な考えを生かし、協働的に問題を解決しようとする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	展開・高次方程式・倍数の判定法・場合の数・確率・期待値・データの分析・素数・ｎ進法・絶対値のグラフについて、基本的な概念や考え方を理解し、基本的な計算をする技能を身につける。	展開・高次方程式・倍数の判定法・場合の数・確率・期待値・データの分析・素数・ｎ進法・絶対値のグラフについて、様々な問題に対しても適切な計算方法を考えることができる。より効果的より最適な計算方法を考え、自らの考えを数学的に表現し、他者にわかりやすく伝えることができる力を養う。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度、自らの思考を他者と共有し、互いの考えを理解し考察を深めていく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	式の展開	・2項の式のn乗の展開 ・パスカルの三角形	a:２乗、３乗の展開の公式を用いて、式を展開することができる。 b:パスカルの三角形を用いてｎ乗の展開を計算することができる。 c:パスカルの三角形の有効性を理解し、積極的に活用しようとする。	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート 発表 等
	高次方程式	・因数定理 ・因数分解 ・二次方程式 ・高次方程式	a:因数定理、因数分解、二次方程式を含む問題を解くことができる。 b:因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。 c:因数定理、因数分解、二次方程式の解き方を他者と共有し、他者と協同して高次方程式を解くことができる。	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート グループワーク 発表 等
	倍数の判定法	・2～13までの倍数の判定法 ・条件にあう倍数の作成	a:２～１３までの倍数の判定法を理解することができる。 b:条件にあう倍数を作成することができる。作成した倍数が正しく条件を満たしているか判断することができる。 c:他者と協同して、条件にあう倍数を作成することができる。	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート グループワーク 発表 等
2学期	場合の数・確率・期待値	・場合の数 ・確率 ・期待値 ・サイコロを用いての期待値の実験	a:場合の数、確率、期待値の概念を理解し、計算することができる。 b:実験の値から期待値を計算することができる。計算で求めた理論値と実験で求めた値の違いを比較し、実験の値を推測することができる。 c:他者と協力して、期待値の実験をすることができる。	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート グループワーク 発表 等	ワークシート グループワーク 発表 等

※令和４年度以降入学生用

	データの分析	・データの代表値 ・データの散らばり ・データの相関 ・データの統計	a:データの最頻値、中央値、平均値、範囲、分散、標準偏差、相関係数を求めることができる。 b:分散、標準偏差、相関係数からデータを比較し、データの特徴を分析することができる。自らで２つのデータを収集し、その相関関係を考えることができる。 c:データの統計において、自らの考察を振り返り、２つのデータの相関関係から、数学的な考察をすることができる。	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート グループワーク 発表 等	ワークシート グループワーク 発表 等
	素数	・nまでの素数	a:素数とは何かを理解することができる。 b:効率的にｎまでの素数を見つける方法を考えることができる。 c:他者と協同して、ｎまでの素数を答えることができる。	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート グループワーク 発表 等	ワークシート グループワーク 発表 等
3学期	ｎ進法	・10進法からn進法へ ・n進法から10進法へ ・n進法からm進法へ	a:位取り記数法を理解し、１０進法からｎ進法、ｎ進法から１０進法へ書き換えることができる。 b:指定された進数へ自由に書き換えることができる。 c:身の回りにおいて、ｎ進法が使われている事象を考え、その良さを共有することができる。	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート グループワーク 発表 等
	絶対値のグラフ	・絶対値 ・直線のグラフ ・絶対値を含む1次関数のグラフ ・2次関数のグラフ ・絶対値を含む2次関数のグラフ	a:絶対値の概念を理解し、計算することができる。 b:絶対値を含む、１次関数・２次関数のグラフをかくことができる。 c:複雑な絶対値を含む１次関数・２次関数のグラフの解き方を他者と協同して考察し、共有することができる。	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート 確認テスト 定期考査 等	ワークシート グループワーク 発表 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度